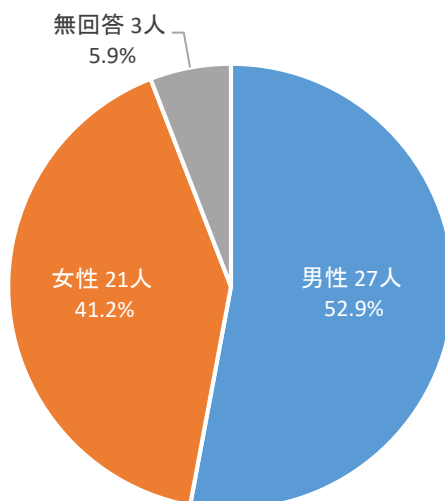


ウェブアンケート調査結果【調査期間 令和2年2月1日～3月31日】

(1) 回答者の属性

①性別 【単一回答】

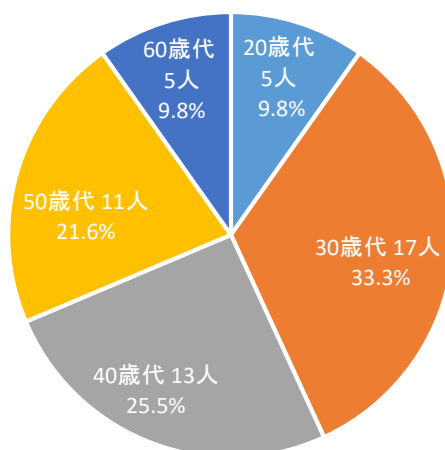
性別については、「男性」が27人（52.9%）と「女性」21人（41.2%）より多くなっています。



(N=51)

②年齢 【単一回答】

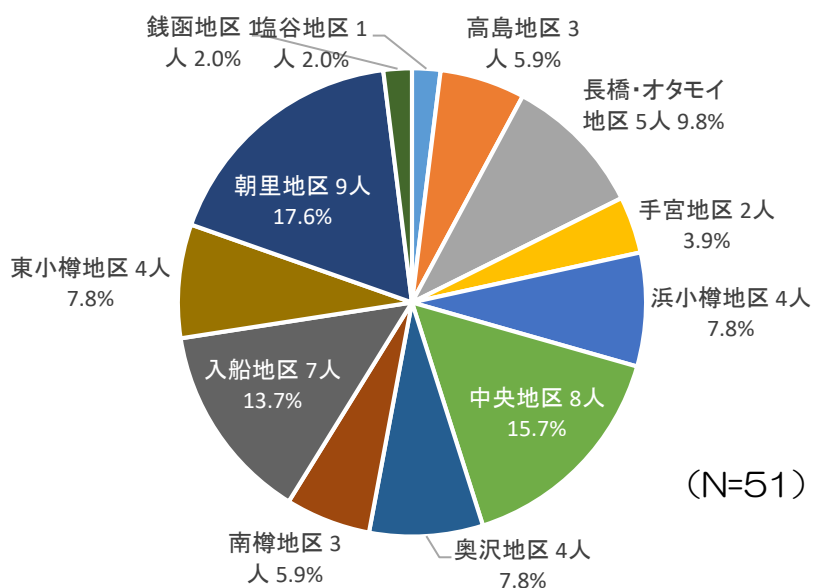
年齢については、「30歳代」が33.3%と最も多く、「40歳代」が25.5%で次いでおり、『40歳未満』が43.1%と半数近くを占めています。



(N=51)

③居住地区 【単一回答】

居住地区については、「朝里地区」が17.6%と最も多く、以下「中央地区」15.7%、「入船地区」13.7%などとなっています。



北西部	【塩谷地区】	忍路、塩谷、桃内、蘭島
	【高島地区】	赤岩、祝津、高島
	【長橋・オタモイ地区】	オタモイ、幸、旭町、長橋
中部	【手宮地区】	手宮、錦町、豊川町、石山町、末広町、梅ヶ枝町、清水町
	【浜小樽地区】	港町、堺町、東雲町、相生町、山田町、色内
	【中央地区】	花園、稲穂、富岡、緑
南部	【奥沢地区】	若松、奥沢、天神、真栄
	【南樽地区】	住吉町、信香町、新富町、築港、勝納町、若竹町、潮見台
	【入船地区】	有幌町、住ノ江、入船、松ヶ枝、最上、天狗山
東南部	【東小樽地区】	桜、船浜町、望洋台
	【朝里地区】	朝里、朝里川温泉、新光、新光町
	【銭函地区】	桂岡町、銭函、張碓町、春香町、星野町、見晴町

※小樽市介護保険事業計画における日常生活圏域（4）をベースに、小樽市総合計画における居住地区区分（9）、小樽市民生児童委員協議会の地区区分（16）を勘案し、市内を12地区に区分しました。

④地域の困りごと・⑤解決策

～困りごとや地域で気になること、それらの解決に向けてどのようにしたら良いか～

【子ども・子育て】

- レピオやいなきたでやる支援センターのイベントが少ないので、イベントを増やしてほしい。場所が行きづらいため、なかなか支援センターまで行けない。
- 市の管轄ではないと思うが、児童館のイベントが分かりづらいので、支援ニュースのようなお知らせを作ったり、ホームページなどで周知してほしい。
- 私の子どもの頃と比べると子どもたちの居場所が減ったように感じます。もう少し、各地域にある町内会館を解放し子どもたちの居場所を作ってもらいたいです。といっても子どもたちを見守る人は足りないことが予想されるので市の方で地域の町内会、ケアマネ、施設と連携を図り、お年寄りと子どもと一緒に過ごせ相互に見守りができる場所や仕組みを作ってもらいたいと思います。
- 小児科が少ない。遊び場が少ない。
- 子どもの遊び場所に困っています。千歳ピッチ、オホーツクにある木育施設、てんとらんど、八雲パノラマパークなど、子どもが身体を思いっきり動かして遊べて低価格な施設や公園が小樽にも欲しいです。
- 不妊治療への助成金を増やしてほしい。第2子以降は補助が減るので困っている。
- 公園が少ない。冬の遊び場がない。医療費無料期間を長くしてほしい。
- 支援自体が少ない印象なので、支援がある地域に引越すことも検討中。もし支援があるなら子育て情報サイトや LINE 公式アカウントなど情報収集しやすい仕組みがあると良い。支援自体がなければ支援を作してほしい。特に、お金面での支援。
- 小さい子が遊べる公園が無い。遊具のメンテナンスが出来ておらず、遊べなくなっているところが多い。
- 学力を上げようとする、どうしても札幌に行かざるを得なくなっている。小樽ならではの新しい教育の概念・方法の導入が必要と思われる。
- 病児保育の少なさ。小児科の少なさ。
- 習い事のできる施設が少ない。解決策としてもっと将来に夢を持てるようなイベントを企画すべき！
- 学校以外での地域密着というか、昔で言う町内会や近所のおじさんおばさんのと交流が希薄で物悲しさを感じます。防犯の面から知らない人には話し掛けられても返事をしないようになど、ご時世なのかもしれませんが困ってる人すら手助け出来ない(しない)雰囲気ですよね。子どもの頃から他人への優しさを養わなければ大人になって出来るようになるものではないと思います。温かい社会を強く望みます。
- 遊べる公園が少ないと思う。
- 発達に不安を感じる子を持つ親が、気軽に相談したり交流出来る場が無い。
- 子どもの数が減少し豊倉小も閉校してしまいました。市としてもっと子育て世代が暮らしやすく、また移住しやすい環境を整えてほしい。
- 小中と不登校のまま義務教育を卒業。学ぶ機会がないまま形ばかりの義務教育を終え、数年後通信高校に進学したものの、長期間学ぶ機会がほとんどなかったため、本人の力

だけで学びを進めることの困難さを感じる。また、学業だけではなく、コミュニケーション能力他、社会で生きていくために必要な体験が不足している子が多いこと。小樽市が不登校や不登校のまま義務教育を終えた子どもたちへの対策が非常に遅れていること。教育と福祉の狭間で、結局対応できる場所、相談できる場所が明確でないため、こぼれ落ちている子どもたちの将来が不安。対策としては、1 学校、教育委員会、行政と専門家、民間の団体や有識者を含めた対策委員会の設置、2 不登校特例校や夜間中学の設置、3 官民の連携、4 保護者や家族への支援。

- 不登校児の教育について、学校とは別の選択肢は自分達で探すしかなく、苦勞している。

【高齢・介護】

- 生活支援を受けている高齢者の飼い猫の遺棄や野良猫への餌やり・多頭飼育崩壊で困った。定期的に訪問している行政や福祉関連業者には、自宅で健全に過ごせていない状態にある事は分かるだろうから「糞尿が酷い」と思ったらせめて保健所に連絡してくれれば、多頭飼育崩壊にもならず本人も市民として健全な生活が送れるだろうと考える。猫の保護施設があれば、保健所はじめ私達ボランティアや札幌にあるNPO団体も支援しやすいと思う。
- 固有名詞はともかくとして、年齢、性別、実際に住んでいるのかどうか、空き家の法律上の持ち主など、最低限の住民データがありませんので、「困りごと」以前の問題として、状況が解りにくくなっています。行政は「個人情報取り扱い」について、正しい理解を示した上で、現状の多様性にとって、小樽市は「この様に考えている」と示すのが先決。その上で、「課題認識」の共通概念を見つけるべき。
- 高齢者世帯が増えて、冬の道路の除排雪が充分に行われていないから、自動車や、歩行者の通行が困難になる場合がある。
- 独居高齢者が多い時代になり、個人情報保護法の施行により人との繋がりが薄くなってきました。時代はどんどん新しいものが増え便利になっていきますがそれは高齢者にも当てはまることでしょうか。地域で認知症、独居高齢者を把握し支えてあげるべきではないでしょうか。市の方で高齢者の家族構成を把握し、その情報を民生委員、町内会長、自治会長に伝えて地域の中でも少し気に止める気持ちを持てるよう動いてもらいたい。
- 個々の地区は特に高齢者が多いので、除排雪を細かくしてほしい。
- 介護認定度が低いと受けられるケアサービスが限られ、働かなければならない若い世代にとって、親の病院の送り迎えなど時期によって困ることがある。
- お年寄りのひとり暮らしの方が多いと思います。
- 高齢者が不利益（本来支払う金額よりも高く説明をする）を被るような老人介護施設が存在するので、適切な金額かわかるように各社オープンで金額提示する。行政指導のもと各社比較情報をつくる。
- ケアマネージャーの質の低さ。
- 高齢者が安心して歩ける街作り。解決策としてもっとコミュニケーションを取れる環境と雰囲気作り！高齢者はもっと若者に耳を傾けて、若者は古き良き物に興味を持たせる街作り！

- 同じマンションに住む独居高齢者の孤独死、水や火の不始末等。解決策としてはマンション管理組合、民生委員との情報共有。独居高齢者（に限らないが）の緊急連絡先の把握等。
- 車椅子高齢者を在宅介護中。ディサービスの車で送迎してもらっていますが近所の人にクレームを言われる。道路に停車しているわけでも車庫前や敷地内に停車しているわけでもありません。解決策は、高齢者在宅介護に理解と協力を。
- 独居老人、老人のみの過程など買い物に困ってそうなお年寄りを見かけます。（タクシーで帰るなど。）介護保険を使うにしてもお金がかかりますし、使えない人もいます。乗り合いの車や御用聞きシステムがあると喜ばれるのでは？
- 年金の範囲で入居出来る施設が少ない。
- 介護予防の体操などを、町内会単位などで定期的に行われると良いかと思う。素人ではなく、市内のデイサービスの機能訓練の方の体操など。
- バス、タクシーの運転手不足のため？の減便で高齢者の交通手段が非常に厳しいと思う。
- 高齢の母がおり、自分達が外出の際、家に母が一人になる場合があり心配。
- 一人暮らしの高齢者の孤立化。訪問の前に、ご近所、町内での声かけ。まずは挨拶から。

【障がい】

- 町内に視覚障害の方が、自立生活を頑張りすぎている。ゴミ出し時の道路の横断する危険性を考えて、ゴミ回収を自宅に来てもらえるよう本人に話してはいるが…。
- 目に見えるものだけが障がいではない。
- 歩道のでこぼこがあり車いすが動きにくい。点字ブロックに破損が目立つ。
- 困りごとでは無いのですが、もっと周りの方々が気楽に声をかけられる地域、街になれば良いと思います。
- オストメイト対応のトイレの少なさ。
- 障害者の社会の受け入れが少ない。解決策として障害の種類別の教育を多くすべき！
- 障害者を受け入れてくれる施設が他の地域と比べて少ない。障がいを抱えている人を受け入れるような施設、地域公共の場所があると良い。
- 公共施設等のバリアフリー化が停滞しており、障害者にやさしいまちになっていないのではないか？ → 老朽化施設の統合等の際はバリアフリー化も考慮する。
- 障害のある人、高齢者も 本来の要望を言えない、言わないのが実情。そこを行政はしっかり理解するべき。十分なコミュニケーションをとって信頼関係を持ってこそ話せることがたくさんあります。
- 夫婦で生活していたが、その夫人が下半身に障害を持ち、車いす生活を送っていた。先日、世話をしていた夫が脳梗塞で半身不随になり入院した。このため、夫人の世話をする人がいなくなり困っている。
- 子どもの発達障がいについて、まだまだ、親の躰のせいという考え方が見られることがある。また、そのような子を恥ずかしいと言う祖父母がいるのも現実。古い頭では、何を言っても無理かな…。
- 義務教育を終え、市内の高校に進学したいと思っても車椅子では受け入れてもらえず、

市外の高校の選択肢しかないこと。バリアフリーの対応が極めて低い。市内の高校への進学が出来るようにすべき。

【住環境】

- 戸建が多く、高齢者の方が施設に入るなどして空き家になった場合、できるだけ速やかに取り壊す等して、周りの人の迷惑にならないようにしてほしいです。
- 今にも潰れそうな家を何とかしてほしい。
- マンションか団地。夏になると深夜にスクーターやバイクで爆音を立てて走り回る集団がいる。当然騒ぐ声も→定期的な巡回をお願いしたい。
- 何でも許されると思っている高齢者。道路を渡る→警察がしっかり取り締まる。
- 交通アクセスが悪い（特にバスの本数、バス路線）。自動運転技術を取り入れたスマートシティ化を進めてほしい。
- 雪かきを依頼する業者が少ない、またあったとしても高額すぎる。一部分のロードヒーティング費用を負担する、副業やお小遣い稼ぎをしたい人、地域の悩みと解決したい人をマッチングする仕組みがあるといい。
- 雪かきの仕方が各家庭によって道路に出す人とそうじゃない人で統一してほしい。
- 札幌までの交通費が高い。（市が JR に要望を出して価格を下げたい）
- 空き家の多さ
- プロパンガスなので高くて困っている。
- 若くない、高齢でもない、かつ収入が多くない単身者向けの住宅があまりない。ペット可となると、本当はない。
- 商店街の活気が年々なくなっているように感じます。店舗を増やす事は厳しいと思いますが、観光客が足を運ぶような場所になれば嬉しいです。「インスタ映え」な写真スポットや、食べ物、期間限定の店舗などを増やしてほしいです。
- 民泊のオーナーが自分勝手に隣の独居老人にひどい言葉をかけたり、見張りカメラを動かなくさせたりしていて、争いが多い。警察官や民泊 G メンも手を焼いている。
- 朝里川温泉にも少しずつ外国資本が入ってきて、今後の生活が不安です。

【地域活動・ボランティア】

- 夏になると海岸清掃があるが、銭函駅前の浜だけで終わるのが疑問だ。
- 話し合いを増やすことを願います。既に行政だけで全ての課題に対応するのは困難。しかしながら、何を恐れてか、話し合いの場を設ける決まり事、そのものが現実から遠く離れていて、行政は、官民協働に至る話し合いが不都合なのでは無いかと考えています。官民がざっくばらんに話し合うことのできない自治体は益々課題が増えるだけで、先が見えなくなると思います。「金」「時間」が無いという理由で、全ての課題から程よく距離を置いて先延ばしにしているのが今の小樽。やる気だけではなにもできないが、全てが有っても「やる気」がなければできないのもまた、事実。行政は公務員法を読み直し、置かれている立場を再認識してくださることを、願います。また、市民も公共の一人として積極的に社会に関わり、出来ることを実施することを希求いたします。
- 議員のいない地区では、地域活動・ボラが皆無である。ちょっとお節介なくらいの町内

会にし、近所・地区のつながりを大事にする仕組みが必要。

- 町内会の集金が苦痛。働いているから集金にも行けない。また来てもらっても払えない。区長から嫌味を言われる。町内の葬儀に出るように言われる。働いているので無理だと断ると、村八分状態にされる→町内会費は振り込み式にできないのか。また、葬儀への強制は信仰の自由もあるので強制しないでほしいことを市内全町内統一してほしい。
- 子育て世代が関わりやすいイベントがない。また施設が老朽化していて、雰囲気も悪い。
- 小樽育ちの人は優しいが集団行動が苦手のようなので、小樽以外の人に頼るしか無いのでは…。
- 町内会活動は、会長他構成員（いずれも男性。70～80代の高齢者が中心。自営業、定年退職者が多い）が熱心なので行事、公園清掃などが活発。しかし、メンバーの固定化、見守り機能は弱い。
- もっと高齢者や障がいの方の理解を求めて活動してはどうか。
- ボランティアがいなければ成り立たない小樽で有名なイベント。いかがなものか…。もちろんやりがいを持ってやられている方を排除しろと言う話ではなく「ボランティアがない大変だ。開催が危ぶまれてる。」と騒ぐほどなら役所の職員が総出でやればいいのか。
- 町内会の区会の違いで町内会清掃の仕上がり度が全く違う。
- 町内会のボランティア活動を行う人がいないので、町内会が消滅しそうである。
- やりたい気持ちはあるが、何を、どこで、どんな内容を募集しているかがわからない。
- 町内会の活動が一部の人だけに偏っている気がする。各町内会の活動と行政が繋がりをもち連携する必要がある。各地域に公民館が必要。

【道路・公園・公共施設】

- 子供を連れて行きたいと思えるような公園が少ない。清潔で安全な遊具のある公園を作してほしい。
- 除雪車が入らない道路に面しており、地域住民でお金を出し合って除雪を依頼している。貸しダンプだけではなく、このような場合も助成を検討してほしい。
- 海岸通りが、ベビーカーを押して歩くと左右に傾斜となり、時間帯によっては車両多く危険でとても歩みにくい。車椅子の自走はもっと難しいと感じる。歩道を整備してほしい。
- 近所に遊べる公園がない。遊具の設置を希望します。バーベキュー、キャンプのできる設備の拡充を希望します。
- ガス灯を模した電灯(?)の足元が破損しているのにそのままにされている。
- 向陽中学の坂は住民が雪を出すので学生が車道を歩くしかありません大変危ないです。何年もおかしいです。事故が起きてからでは遅いです。除雪しないとダメです。
- 夏場、町内のとあるお店の前の道路に路駐する車が多く通行が困難。交差も難しい。お店の方で注意喚起の看板など掲げるなどしてほしい。
- タイミングが悪いのか歩道に除雪が入っていないことがあり、足の悪い方が車道を歩

いているのを見かけた。車道なのでツルツル滑り転びそうになっていた。

- 市営桜団地（3丁目）の道路。カーブ沿いにいつも軽自動車が止まっている。視界が悪い時は追突しそうになる。マンションや一般住宅の来客や複数台所持しているところは坂道に路上駐車したり、他人の敷地に停めたり、往来をふさいだりする。→団地だけではなく地域の皆が使えるような駐車場が欲しい。空き地を活用できないか。
- 冬の上りの十軒坂、交差点が狭くなり過ぎで交差が出来にくいです。火の見やぐらの下が狭くなり過ぎに感じます。
- 除排雪が平等に行き届いていない。
- プールを増やしてほしい。トランポリンなど特殊な運動できる施設があるといい。使われなくなったプールや体育館での営業や学校で使っていない時間は開放する。
- 雪で高い壁が道路にできるのと、二車線のところが一車線になるので通行人がいてさらに車の交差が困る。
- 冬になると道路が狭くなりすぎる。
- 公園が整備されてない。整備すると良い。
- バス通り以外の路地の路面がデコボコ過ぎて酷い。車はもちろんだけれど、歩く人、特に高齢者や子供が転んでしまう原因になり得るくらいに穴が空いているなどがとても多い。また除雪していただけるのは助かるが、家の前に車のバンパーが半分も隠れるような高さの雪を置いて行かないでいただきたい。2年連続でクレームを入れているが、改善される気がしない。もう少し業者への除雪方法の通達をしっかりとしてほしい。
- 図書館が遠い。博物館が高い。美術館がつまらない。文学館はほぼ存在しない。その他の公共施設も認知度が低く、利用率が低い。市役所以外から人材を募って、やる気のある若い方を集め、公共施設全体を抜本的に改善するためのチームを作ってはどうか。
- 道路がガタガタ。
- ロードヒーティングが入っていない場所が多く滑る。
- 豪雪や坂道などの問題点を発想の転換をし、魅力ある街に作り変える！
- バスが時間通りに来ない。発車時刻の表示の見直し。
- 道路の舗装がてんぷら舗装が多く、坂道が多い小樽において、より走行環境が悪くなっている。主要道路だけでもいいので、舗装の見直しをしてほしい。
- 動物と触れ合えたり、遊具で遊べたりなど、野外で子どもが遊べる場所が少ないと思います。以前花園町にあった「こどもの国」を再建してほしいです。
- 細い道路にグレーダーが全く入らない。まともに走れない状態なのに放置しているのが考えられない。
- 小樽協会病院駐車場前と市立病院駐車場前にかかっている横断歩道があるが、信号無視をする車が一定数おり、その横断歩道を渡るのが怖い（そこはなるべく利用せず、双葉高校側の横断歩道を利用している）。→警察の巡回を増やし取り締まり強化。
- ロードヒーティングに自分の敷地内の雪投げている。また、国道や市道にも雪投げている人が多い。解決策は注意喚起看板の設置。
- 自宅から高島小学校への行く途中の道が、バス通りで通学路であるにも関わらず、独立した歩道がなく、さらにタクシーの休憩？客待ち場所？のようになっていて、人が歩くスペースにタクシーが停まっており、車道に出なければ通行できないこともあるため、

大変危険だと思います。幅がないので今更改めて独立した歩道を作ることは不可能に近いと思うので、タクシー会社へ協力を求めたり、何か改善策はないか検討対策していただきたいです。

- 公園について、危ないからといってボール遊び禁止や自転車禁止など何でも禁止するのではなくどうやって遊べば危なくないのか 両者が周りに気を配り“考えながら”遊べるよう親や大人が教えていくべきかと。
- 桜ロータリーへの進入はシガさん側からの道路以外は全部一時停止のはずなのに、望洋台側から進入してくる車輛だけは何か9割が減速したかしないかくらいで進入してくる。朝の登校時間など見てて怖いので本当にやめてほしい。警察にも何度か伝えたがもっとみんなが本当に気を付けるまで徹底して取り締まるなり何らかの対策をお願いしたい。子どもが犠牲になる前に。
- 民泊の入り口の細い道に車を駐車させていて、隣の家のおばあさんが出入りに苦労している。救急車が入れないので心配である。
- 子供が安心して遊べる公園が思いつかない。
- 道路舗装が必要なところがたくさんあり車の運転がしづらい。
- 築港駅小樽方面へのバス停の場所が駅よりかなり遠い。ウィングベイ直結の小樽築港は高齢者にとっても本来は行きやすい場所のはずが、バス停から駅への距離があまりに遠すぎる。小樽築港のバス停に限らず、バス停の場所の見直しが必要。市内、老朽化ひた歩道橋はとても危険。産業会館の老朽化、素晴らしい立地なのに非常にもったいない。リノベーションし、人の流れを作る。商大からの若者だけでなく、高齢者、子育て世代など有効活用すべき。

【健康・医療】

- 個人病院に関しては、医療器具のレベル検査を徹底してほしい。薬の出し方も調査して発表したらどうですか？
- 札幌から見ると医療が相当遅れてる
- 小児科や産科など問題点が多く、身近に気軽に医療相談ができる場所が必要です。
- 医療機関が少ない。
- 病院の職員の質が悪い所がありすぎる。苦情が言えキチンと調べて注意してペナルティでも与えてくれれば改善されると思う。病院様の態度は目に余る。

【防災】

- 防災について、ここは災害のない場所だから大丈夫！と高齢の方達は仰る。防災訓練の回覧すら回って来ない。町内会長の世代交代しかないのか！？
- 個人の家で直下型 M7~8 の地震を受けたら、現実問題、防御は難しいでしょう。公共の場の全てを防災の観点から見て、データを公表、対策を講じてほしい。除雪と排雪が行き届かず、「死者」が増えることは間違いないと思います。
- 各地区で防災勉強会などは行っているのでしょうか？
- 冬の防災訓練をしたことがないので雪の季節に災害が起こった時とても不安。
- どこに避難すればいいのかわからない。近くの学校は〇〇はいいけど●●の災害はだ

めだとかあるらしい。→広報おたるとかで特集を組んでほしい

- 有事の際に何をしたら良いかわからないというぼんやりとした不安がある。シミュレーションをもっと小樽全体でしてみたい。
- 災害が少ないので、防災に関して危機意識が少ない！もっと経験者に耳を傾けるべき！
- 市が指定している緊急避難所が奥沢小学校なのだが、地震や大雨の時の避難所には指定されていないので、どこに避難すべきかが不明である。また、近くの小道で、灯油を300リットルほど積んでいる軽トラックを夜間に駐車させている人がいる。
- 高齢者がいるので、災害時の避難対策が不安。緊急事態の場合、一人暮らしの高齢者はもちろん車が無い世帯の高齢者の避難方法を検討、非常事態に備える。
- 火事、地震に対する備えが万全でなく心配。

【防犯】

- 犯罪者は隠れ場所に不自由しないでしょ。空き家を放置しておく当事者はもちろん、行政が無策なのは防犯の根本を話し合ってみれば解ると思います。暗いので外灯をつけましょう、防犯カメラを設置しましょうの論議は不可欠、しかしながら、「街づくり」という総合的なデッサンを皆で話し合いながら模索しなければ、電気屋さんの商売が増えて行政は一定の報告ができる。そこで、また来年同じことをする。この繰り返しだと思えます、
- 的を外した、船着き場の警察の見回り…。夜…ではなく夜中に見回りを強化してほしい。夏になると、夜中や朝っぱらから泊まりがけで遊びに来る人達が浜で騒がしいのでどうにかしてほしい。
- 警察等は高齢者を狙った犯罪や子どもを狙った犯罪を未然に防ぐ活動をすべきである。
- 派出所は留守が多い。警察署にかかるはずの電話もかなり長く鳴らさないと繋がらない。110番でいいなら何のための派出所なのか。
- 家の近くに防犯カメラがないようで不安。

【青年（ニート・引きこもり）】

- 半径100m以内に3名いるが、ご本人が一番辛いのではないかと気がかり。町内の人からは誰も何も言えず、住民基本台帳を基に警察官の調査と役所や民生委員等の連携で何か対策はあるだろうと考える。
- 青年もダメだけど、壮年は絶対ダメだと思う。軽作業からでも強制的にさせるべき。
- 生活保護者が、最新のゲームやブランドバックを持っているのが納得いかない→引きこもり・ニートには即日バイトや内職等をあっせんして、少しでも収入を得て社会に溶け込んでもらいたい。（登録制で、市や企業が募集するような）生活保護者には、現金振込だけでなく、生活必需品を現物支給して無駄な浪費を削減するようにしてもらおう。空き団地やアパートで共同生活をして何か内職や軽作業をして少しでも収入を得るようになるにはできないのか。
- 家にも学校にも居れない子ども達が安全で安心して過ごせる場所があればいいですね。成人の引きこもりの人達が、自分の体調に合わせて練習が出来る場所（食堂）があ

ればいいんですね。そこで、引きこもりの方々が、地域食堂を手伝い（ボランティア）近くのお年寄りも集まれるようにして、地域の輪ができていくといいですね。私は調理師で60歳です、こういうことを考えています。

- 学校に行かないことを問題だと思わないので、それを問題にしているのが問題だと思う。当事者が望むのであれば、学校に行かない分の別な教育を提供してあげれば良いと思う。
- 親の子育てとネット、マスコミ、ゲームなど、社会自体を変えなければ解決策はないので、小樽市だけで解決するのは難しい！しかし、決定的な解決策はないが青年の可能性を引き出すために小樽市にもできることは少なくない！
- 役所や地域の担当者がキッチリ把握すべき。親や本人の言葉を鵜呑みにしてる人ばかりで実情を見ていない。
- 引きこもりの人がいるが、様子がよくわからない。
- 青年＝ニート・ひきこもり、と受け取られるような表現は差別を助長しているように感じます。あえてニート・ひきこもりについて言うならば、原因の一つとして社会での居場所がないからだと思います。
- ニート、ひきこもりの方が、いきなり仕事につくことは極めて難しい。ニート、ひきこもりの家族に対する相談などの支援が必要。つながりを作る。居場所作り。相談窓口の明確化、ネット相談窓口の設置。

【その他】

- アパート居住者のゴミの分別が不十分であり、個人の問題では済まされないため、アパートとしてゴミ収集を考えるべき。ロードヒーティングや道路に面している住民の雪出しが小樽は非常に多い。除雪技術も下手だと考えるので、除雪車運転技術は他の市町村で講習を受けるなどの対応が必要であろうし、雪出しは罰則を設けるべき
- ☞ この数年、市内において猫の保護や TNR に関り、環境省が言う猫の適正飼育がされておらず、啓発活動していても「山の中に捨てればいい」と言われ、それは特に高齢の方に言われる。昔と今は色々なところが変わってきていて動物の遺棄は犯罪になると言っても、名前書いてある訳じゃないのだから良いだろう！と突き放される。高齢となり病気がちになり社会から取り残されるような孤独感からなのか、野良猫に餌を与え室内に入れ、お互いに温もりを感じ、しかし気が付けば自分には飼いきれない数となり、家の中も糞尿で汚染され、人として健全な生活が送れない人達に関わったのは昨年だけで3件。火種の小さなうちに対応できれば猫の保護施設を持たないのだから、保健所も私達ボランティアも札幌のNPO団体も翻弄することなく、何とかなっているのではないだろうか。行政と福祉関連業者や市民ボランティアの連携により、小樽市民のためにもより良い街づくりが出来ると思う。
- 行政は安定した収入と休暇、そして、庶民から見ると莫大な退職金。これらから離れても、公共の立場に立って、一人の人間として、何をすべきか？を深く考え、とにかく、話し合いの場を作ることに對して恐れることなく実施してほしい。実態の中に飛び込んで行って、自ら現実をレポートしてほしい。苦言を呈した感がありますが、今の行政を作ったのは市民、お互いに反省する必要性も認識しています。まずは自戒を込めて書

かせていただいたことをご理解ください。とにかく、一人でも一つの行政でも「物事」は改革できません。よろしく願いいたします。

- 子育て？医療？住みやすい？学力？いやまじで本気でなにをしたいのか人口本気で増やしたいと思ってないよね？
- このアンケートに見られるように、課題と対応策という事を簡単に問う人達はその時だけ調査介入しようとする。問われた人達はその都度期待しその調査に答えるが、調査を行った側が応えてくれることは皆無である。
- 困ってはいないが、もっともっとアットホームな街になったら良いなと思う。関わりが少なければトラブルも少なくて良い面もあるが寂しさもある。
- 冬場、高雄ビルの駐車場からの雪解け水で歩道が滑る。坂なのとブラックアイスバーン状態で歩くのに非常に危険である。そのため車道を歩かざるを得ないこともある。→駐車場出入口の除雪を徹底する。今以上に砂をこまめに撒く。
- 小樽市の印象として、高齢化が進み、高齢者に対してのケアが多い一方で、若い世代（子育て世代）に向けたケアが少ないと感じる。様々な制度があるのかもしれないが、選挙の際なども小樽市の中で出てくる話は、高齢者に向けての環境づくりばかりで若い世代は置いてけぼりを食らう。そのような現状から、小樽という町は好きでも、働き口も少なく、制度も悪い小樽から同世代の小樽市出身者も出ていく印象が大きい。→高齢者にだけ優しい環境ではなく、若者世代・現役世代も住みやすい環境づくりをしてほしい。また、そのような制度があるのであれば、積極的に周知してほしい。少なくとも小樽市に住んでいる 20 代には届いていない。※病院などは多くあるが、子どもを受け入れてくれるような病院はあまり多く、どこの病院でも高齢者が多く、受診の機会が少なくなる。
- 震災の時、介護が必要な高齢者と障がい児者が避難できる場所を作ってほしい。日本で大きな震災があった時、健常者と同じ空間で、とても辛い思いをした人がいます。だから、健常者、介護が必要な高齢者、障がい児者と建物を別にした場所の提供ができるよう考えて下さい。東日本大震災のとき、自閉症の子供が声をだしたら、うるさいなど罵声が飛び、自閉症の子のお母さんは、その子の口をタオルで泣きながら塞ぎ、一緒に死のうと思いましたと言う事例もあります。こんな思いを決してさせてはならないです。
- ここ数年でバス本数が減ってしまい、通学通勤に不便を感じます
- ゴミの直接搬入をもう少し柔軟にしてほしい。事前予約、曜日、時間、ゴミ袋と制約が多すぎです。事前予約なし、受入曜日と時間はもっと伸ばす、ゴミ袋は透明であれば自由など検討してほしいです。また粗大ゴミも直接搬入を認めてほしいです。引越シーズンではゴミ処理業者も捕まらず、困っています。さらに他の市町村より非常に高額です。